

地域とわたしたちの心意気をつたえる

Vol.
03

Total.77
2025
Winter

TAKE
FREE

心意気通信

Kokoroiki-Tsushin



CONTENTS

心意気インタビュー
米沢商業高等学校 商業研究部
2024年振り返りレポート
スタッフ&事例紹介 他

あなたの
心意気は？

心意気インタビュー

山形県立米沢商業高等学校

商業研究部



少子高齢化で、子どもの数が年々減っている昨今。統合等で閉校する学校も増えてきました。山形県立米沢商業高等学校もそのひとつです。今回閉校を記念した商品製作をしたということで商業研究部の生徒さんから依頼があり、取材させていただきました。

記念品を作ろうと 思ったきっかけ

商業研究部は現在1年生から3年生合わせて15名。ビジネスに関する知識等、高校での学びを活かし地域活性化に貢献するために、実践活動として地元企業とコラボした商品開発等を行っています。

米沢商業高校は令和7年3月で閉校となります。同年4月に米沢工業高校と統合して、新たに米沢鶴城高校が開校します。

そのため、米沢商業高校として取り組む最後の研究テーマを「閉校」とすることに。閉校を記念した商品販売することで、学校の魅力を再認識してほしいとの想いで記念品製作に取り組みました。



名刺入れや巾着、しおりなど普段使いできるものから、クッションカバーやぬいぐるみ、ふくさ、紅花を使用した食品も。写真以外にも様々な商品がたくさんありました。

「米商」らしさを テーマに

記念品を作るにあたり、OB・OGをターゲットに内容を考えていったそうです。「コスト面を考慮して、制服生地をうまく活用できるものにししました。校章が入ってる製品はすぐに見て『米商だ！』とわかっていただけるといいな」と部長の佐藤さん。校章と制服生地を活かし、OB・OGに懐かしんでもらうことを目的に企画していきました。

世代を超えた繋がり

商品化するにあたり、協力企業がなかなか見つからない、コスト面の調整や試作が上手くいかないことも。企業へのアポイントも生徒さん自ら行いました。苦労した部分もあつた中、楽しかったのはお客さんとの米商の思い出話だったそう。「高校時代の思い出などを話される方が多くて、世代は全然違いますが、共通するものや思いは同じだったりとすごく共感できるものがありました。」

お客さんの反応は「懐かしい」といった声が一番多かったとのこと。東京に住むOB・OGの為に購入した親御さんも。「道の駅で販売した際は、会計が追いつかなくなるほど沢山の人が来てくださったので、改めて米商って愛されているんだと嬉しくなりました。」と話してくれました。

米沢商業高等学校 商業研究部の心意気 記念品で広がる 「米商愛」のご縁

生徒さんが印象に残った話で一番多かったエピソードが「米商が愛されていることを世代を超えて実感した」こと。もう目にするのができなくなってしまう制服や校章を残すために、商品化した生徒さんの想い。お話を聴いているとOB・OGのお客さんに確実に伝わっていると感じました。



「鶴城高校になっても、米商らしい明るさを忘れずに頑張っていきたい」と笑顔で話す皆さん。記念品製作での学び・米商への想いは高校が変わっても、さらに卒業した先でも、記念品と共に持ち続けていってほしいです。



道の駅米沢での販売の様子。



一押しは名刺入れ。普段使いしやすく、名刺交換で名刺入れを出した際に話題のネタになるため。

記念品の内容は15名皆さんで考案。使用している中でふとした瞬間に米商のことを思い出してもらいたいとのこと。

Information

お問合せ
TEL: 0238-22-8055
(米沢商業高等学校)

ネットショップ
「ウッドメイク」
<https://woodmake.co.jp/>



ネットショップ



米沢商業高校 Instagram

Check!

さらに詳しいインタビュー内容は心意気デザインサイト内のコラム記事にてご覧いただけます



個性豊かなスタッフを
不定期で紹介!

川島印刷 スタッフ紹介



菊地 美香

KIKUCHI Mika
・制作部エディター

今後仕事で挑戦したいこと
目標にしていること

現状維持を心懸けています。名刺に限らずですが、校正と納品はなるべく早く渡せる(出せる)ようにしています。
新規作成の場合は、原稿通りの作成とオリジナルの2パターンを提案させていただいています。

休日は何をして
過ごしてる?

道の駅に出掛けます。
春から秋にかけて「道の駅 裏磐梯」へ数回行きます。
お目当ては山塩ソフト!かなりはまってしまいました!!
また今年も行きます~す!



大好きな
山塩ソフト

最近楽しみにしていること

新作のお菓子や新商品を見に行くこと。
期間限定に弱いので見ると買ってしまいます。
(特に“チーズ”と“ラムレーズン”)



今一番欲しいものは?

冷えない体 (毎年だけど、しもやけから解放されたい!)

今までの業務の中で一番思い出に残っていること

何も無いところから作成して、初校の時「いいね!」と言っただけなことです。励みになり、また頑張ろうと思えます!

制作事例

心意気が世の中へ伝わるように、
作り手と共にカタチにできた
デザイン事例をご紹介します。

置賜広域行政事務組合様

OK!TAMAのわ ロゴ&サービスサイト

- 営業担当: 梅津 貴幸
- 制作者: 田澤 華 (ロゴデザイン)
渡部 奈乙子 (webデザイン)

置賜の魅力を発信し、
地域を応援する輪に

ロゴ制作

置賜地域の魅力を知ってもらいた
め、新たなチャレンジや地域づくりの
応援事業、後押しを行う「OK!TAMA
のわプロジェクト」。「後押し」は、転
じて助力すること。新たな取り組みに
チャレンジする方への応援の意味を込
めてコンセプトを作りました。置賜の
山を越えて遠くまで声が届き、人や自
然が繋がり、輪になることをイメージ。
黄色の顔がプロジェクトを運営する方
や県内の方、緑色の顔が県外から興味
を持った方や、声が届いた方を表現し
ています。

サービスサイト制作

サービスサイト制作
サイト全体のカラー指定が「温かみ
のある黄色」でしたので、テーマを「活
気」「元気さ」にしました。また、初めて
ホームページに来た方が置賜に興味を
もっていただき、地域の元氣・ゆくもり
や身近さを感じていただくよう、各
ページタイトルなどは親しみを持てる
柔らかい感触の書体を選んでいます。
このサイトで、たくさんの方が置賜
地方に興味を持っていただけると幸い
です。

事例詳細は
こちら



OK!TAMAのわ
プロジェクト
Webサイト



ウサギだけど
にんじんより
フルーツ派



「おらえの!」 めんごい ZOO

Aren't my animals so cute!!

GUEST



Name: ポップちゃん

- 年齢: 1歳5ヵ月 ●性別: ♀
- 好きな食べ物: 梨・キャベツは大好物!
- 嫌いな食べ物: きゅうり食べません
- 性格: 初対面でも人懐っこく、撫でてとすぐ甘えます
根はいたずらっ子で、ぬいぐるみのお友達を
ほりほりすることも

仲良しのお友達



出合いのきっかけ

ペットコーナーにいた時、
ゲージ越しに鼻を出して近
づき興味を持ってくれ、運
命を感じたのでお迎えしま
した。

寂しさのあまり

1ヵ月後に初めて預ける事
がありました。寂しかつ
たのか帰ってきてから、過
剰に飼い主を舐めて甘える
ようになり、そこから甘え
上手な女の子になりました。
飼い主の周りを毎日ぐ
るぐるまわる、我が家の
ムードメーカー!

飼い主様からのメッセージ

表情豊かで愛嬌あるポップちゃんが
毎日愛おしくて大変です。
これからも元気いっぱい長生きしてね♥



今回の飼い主様は、
米沢にお住まいの橋本さんでした。
ありがとうございました!

入園メンバー大募集!

「おらえのめんごいずー」では、あなたの自慢のペットを
ご紹介させていただきます。
肉球があってもなくてもペットへの愛があればOK!
お近くの川島社員がQRよりお気軽にお申込みください!

入園届はコチラ!



米沢品質 AWARD 2024 受賞しました!

この度「心意気デザイン」が、米沢品質AWARD2024を受賞いたしました!この賞を頂けたことは、日頃よりわたしたちの取り組みを応援してくださっている皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

社長コメント

「心意気デザイン」を多くの方々に知っていただけ、米沢の心意気や魅力を広く発信していきま。そして、たくさんの方が米沢を訪れるきっかけとなり、地域全体の活力につながるように頑張っています!



審査員に 評価された ポイントとは

まちの印刷屋さんとして「依頼された印刷物をキレイにつくる」だけではなく、お客様と同じ目線に立って、商品やサービスにかける「心意気」を掘り起こし、「価値の再発見に取り組みなど、その商品やサービスそのものの変革に繋がっていること。

また、「心意気」という言葉が自社の共通言語として育っており、自社自体が従来の印刷業から変わろうとしていることが、まさに「The米沢品質向上運動」であるとして高く評価されました。(評価コメントより)



「心意気デザイン」AWARDの詳細はこちら▼

ぽかぽか 紅花プロジェクト

DATE 2024/9/3 - 2024/11/9

紅花に新たな魅力を

九里学園高等学校2年生/井口清正さん



弊社発行の社外報で紅花に関する特集記事を見て、九里学園高等学校2年生の井口清正さんから「紅花入浴剤と一緒に作ってほしい。」とご連絡が。井口さんは現在、探究授業のテーマで紅花を取り上げています。研究目的は、紅花入浴剤を通して地域の方々に紅花の魅力を知ってもらうこと。紅花には、血のめぐりを治し冷え症を改善する働きがあると知り、米沢の冬場に必要だと思いついたそうです。そこで一緒に紅花の乱花を使った入浴剤を制作することになりました。

紅花入浴剤の試作



井口さん案は紅花独特の黄色いお湯に。バスボムはお湯に入れたとしゅわしゅわと溶けました。温度を測ると、紅花が入っている方が温かい結果に!

井口さんが事前に考えてきた紅花をそのまま入れる案と、編集メンバーの重曹とクエン酸を使ったバスボム案で試作に挑戦。終始緊張した面持ちの井口さん。結果はどうなるか…。

マルシェでの販売

その後、井口さんから「マルシェに出店する」と連絡をもらい再度取材へ。私たちとの試作品作りのあとに改良を重ね、「香の入浴剤」に変化をさせていました。来場された方々とふれあう井口さんの表情が誇らしげに見えたのが印象的です。入浴剤は見事完売!



Q. 取り組みを進めてみていかがでしたか?

井口さん：紅花を使った入浴剤を作りたいと市内の企業様に相談したことで、一緒に考え取り組むことができました。入浴剤を考えたことでイベント(わっさまるシェ)にも参加することができ、来場された方に紅花入浴剤に興味を持っていただけ嬉しかったです。イベントを通して課題にも気づくことができた良い経験になりました。これからも多くの方に紅花を知ってもらえるように取り組みを続けていきたいです。



Thank you!

紅花を通して弊社に協力依頼をしてくれた井口さん。紅花の効能に着目した入浴剤は今の季節にピッタリ。工夫しながら紅花を広めている姿に今後の活動も楽しみにしました。紅花のご縁をありがとうございました!

米沢の心意気をより広めるための活動

「自力本願の地 米沢」プロジェクト

「自力本願の地 米沢」
詳細はこちら▼



1 GOOD LIFEフェアへ出展

- 出展日：2024年10月25日~27日
- 場 所：東京ビッグサイト



自力本願:あきらめない心を
持つことの大切さを伝えました

3日間で約2,000名の
「方がブースに!」



子どもたちも
絵馬に決意を
書いてくれました

2 企業向け教育・研修型「自分に誓う旅」の造成 旅行のファムツアー

- 実施日：2024年11月14日~15日
- モニター：マツダ株式会社 新規事業開発室の皆さま



米沢での体験・学びを通して
参加者が自らの誓いを立て、
自分の持ち場に限り実行に移すことこそが
企業にとって未来を切り拓く大きな一歩に!

3 キックオフイベント 市民講座 「米沢から未来を切り拓く ~上杉鷹山に学ぶ~」開催

- 開催日：2024年12月7日
- 講師：九里学園高等学校 遠藤英氏



数々の鷹山公の実績から、
現代に生きる私たちが
成すべきことは何か?を
考える機会になりました

2025年も自力本願でさらに頑張っていきます!

川島印刷 芋煮会

内陸と庄内の味を食べ比べ!



米沢の秋と言えば「芋煮」です。社内交流の一貫として芋煮会を企画しました。内陸出身のスタッフと庄内出身のスタッフに分かれて調理し、芋煮の味を食べ比べしました。材料や調味料の違いで「豚汁じゃん」などと作りながら争っていたスタッフも味が整った頃には互いの出来栄を讃え、2つの味を美味しく味わうことができました。



べにばなかるた大会



芋煮会のメに米沢市と米沢興譲館高等学校の生徒が作った、べにばなかるたを行いました。米沢市役所からお借りして、かるたが得意なメンバーで盛り上がりました。かるた一枚いちまいに紅花の魅力とかわいイラストが読み札に綴られていました。みんなで大笑いして楽しむことができました。また開催したいと思います。



へっちゃらさ〜
つゆまこえて
はなびらく

どっちの味も
おいしい!

新たな挑戦へ、大きく蛇ンプする一年に!

2025年 巳年 年男スペシャル

健康第一

明けましておめでとうございます。昨年は体調を崩しがちでしたので、健康を第一に過ごしていきたいです。今年もどうぞよろしくお祈りします。

制作部 菅 飛翔さん

昨年の思い出



ラーメン こまどりさん
味わえな
太麺で濃いめの味噌ラーメンでした。



初めて二郎系ラーメンを食べました。
厚切りのチャーシュー最高でした。
ラーメン 武豚さん

編集後記

思い出をカタチに by スタッフH

母校が閉校になることは、この先どんどん増えていくことなのかもしれません。私を通っていた高校も数年前に統合され閉校になりました。閉校になったのは卒業後なので、商業研究部の皆さんのように現実的には捉えていないのですが、高校生活に救われたこと、高校生の時の頑張りが今の糧に繋がっていることはとても多いです。あの思い出は自分や友人、先生の記憶の中にしかないと思うと少し寂しく感じます。そう考えると、眠っている制服も、残るものとして身近なカタチにするアイデアは感慨深いと感じました。これからも、記念品が米商の記憶を残し、OB・OGとのご縁を繋げるものとして広がっていくことを願います。また、商業研究部の皆さんが未来に羽ばたいてくことを応援しています。



心意気通信 (旧かわしま通信) Kokoroiki Tsushin Vol.03 total.77

Winter 2025 2025年1月発行

発行/株式会社 川島印刷 〒992-0021 山形県米沢市大字花沢 221-2
TEL / 0238-21-5511 FAX / 0238-21-5514

URL / <https://kawa-prt.com> 企画・制作/川島印刷 社外報委員会
編集/鈴木貴美子、本間かりん、小林侑輝、岡部智佳、沓澤貴志

取材協力/米沢商業高等学校商業研究部様、九里学園高等学校井口清正様

心意気デザイン

川島印刷HP

Instagram

Facebook

